



平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月13日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 ゼットン

コード番号 3057 URL <http://www.zetton.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲本健一

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 森 充

TEL 03-6416-3120

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第3四半期の連結業績(平成23年3月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第3四半期	5,130	1.9	368	46.5	350	48.1	178	25.7
23年2月期第3四半期	5,037	11.0	251	—	236	—	142	—

(注) 包括利益 24年2月期第3四半期 —百万円 (—%) 23年2月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第3四半期	4,539.40	4,448.23
23年2月期第3四半期	3,666.89	3,592.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第3四半期	3,434	803	23.4	19,043.85
23年2月期	2,776	523	18.8	13,509.76

(参考) 自己資本 24年2月期第3四半期 803百万円 23年2月期 523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年2月期	—	0.00	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	0.5	240	20.0	220	20.2	110	7.8	2,840.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年2月期3Q	42,179 株	23年2月期	38,727 株
24年2月期3Q	— 株	23年2月期	— 株
24年2月期3Q	39,308 株	23年2月期3Q	38,727 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(第3四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により不安定な状態となっておりました。国民生活や経済活動も徐々に回復傾向にある中、円高の進行、欧州の金融不安をはじめとする海外経済の減速傾向等、先行きに対する不透明感が強まる状況が続いております。

外食業界におきましても、景気低迷により消費者の節約志向が強まり、また、原発問題等により消費者の「食の安全」に対する意識が高まり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、既存店におきましては夏季におけるプロモーションに注力し、また、出店コストを抑え投資対効果を高めた「ALOHA TABLE」及び夏季限定店舗を積極的に展開いたしました。

売上高は、東日本大震災の影響により、一時的に大きく落ち込みましたが、5月以降は夏季限定店舗を中心に回復傾向となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は、昨年度を上回る結果となりました。

また、店舗運営コスト及び本社経費の削減に取り組むことで、収益性も向上し、利益面においても昨年度を上回る結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,130百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は368百万円（同46.5%増）、経常利益は350百万円（同48.1%増）、四半期純利益は178百万円（同25.7%増）となりました。

店舗数におきましては、直営店3店舗、FC店1店舗の新規出店により、当第3四半期連結累計期間末（平成23年11月30日現在）において、直営店49店舗（国内47店舗、海外2店舗）、FC店3店舗の計52店舗となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①公共施設開発事業

東日本大震災の影響により、「横浜マリントワー」、「ガーデンレストラン徳川園」等のプライダル事業併設の大型店舗を中心に、業績が伸び悩みましたが、夏季限定店舗、既存のオープンテラス店舗は好調に推移いたしました。

この結果、当事業における売上高は2,405百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は378百万円（同5.6%減）となりました。

②商業店舗開発事業

夏季限定店舗の売上拡大、「ALOHA TABLE」を中心とした既存店舗の好調に推移いたしました。

この結果、当事業における売上高は2,722百万円（同6.1%増）、営業利益は351百万円（同22.0%増）となりました。

③プランニング&コンサルティング事業

グラフィックデザインの制作、コンサルティング等により、当事業における売上高は2百万円（同17.9%減）、営業損失は58百万円（前年同期は営業損失62百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ657百万円増加し、3,434百万円となりました。これは主に、現金及び預金が641百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ377百万円増加し、2,631百万円となりました。これは主に、有利子負債が126百万円、買掛金が79百万円、資産除去債務が55百万円、未払法人税等が46百万円、未払金が44百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ280百万円増加し、803百万円となりました。これは主に、利益剰余金が178百万円、第三者割当増資により資本金及び資本準備金が94百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ637百万円増加し、1,048百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、608百万円（前年同期は542百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上341百万円、減価償却費の計上175百万円、仕入債務の増加額79百万円、法人税等の支払額101百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、139百万円（前年同期は164百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出103百万円、差入保証金の差入による支出34百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、186百万円（前年同期は189百万の使用）となりました。これは主に、短期借入金の増加額200百万円、株式の発行による収入90百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において平成23年6月30日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

2. 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出しております。

3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ3,384千円減少し、税金等調整前四半期純利益は21,218千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は51,047千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,060,649	419,240
売掛金	126,999	128,165
商品	790	1,163
原材料及び貯蔵品	60,152	61,092
前払費用	44,423	39,678
繰延税金資産	16,531	17,654
その他	27,752	17,779
貸倒引当金	△2,314	△10,014
流動資産合計	1,334,985	674,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,389,911	1,397,367
工具、器具及び備品（純額）	142,572	152,576
リース資産（純額）	113,976	110,256
建設仮勘定	5,590	—
その他（純額）	195	269
有形固定資産合計	1,652,247	1,660,469
無形固定資産	22,759	28,533
投資その他の資産		
投資有価証券	6,100	3,100
出資金	1,010	1,010
長期前払費用	4,871	3,721
差入保証金	328,544	298,164
繰延税金資産	81,833	106,913
その他	2,188	201
貸倒引当金	△11	—
投資その他の資産合計	424,536	413,112
固定資産合計	2,099,543	2,102,115
資産合計	3,434,528	2,776,876

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	330,448	251,357
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	387,859	353,732
リース債務	39,892	32,266
未払金	170,535	125,692
未払費用	165,982	159,540
未払法人税等	121,804	75,084
未払消費税等	38,684	50,813
前受金	96,844	63,927
資産除去債務	4,945	—
その他	14,544	17,624
流動負債合計	1,571,540	1,130,040
固定負債		
長期借入金	918,591	1,031,187
リース債務	84,330	87,032
資産除去債務	50,272	—
その他	6,543	5,424
固定負債合計	1,059,737	1,123,644
負債合計	2,631,277	2,253,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,355	330,890
資本剰余金	300,558	253,093
利益剰余金	154,526	△23,911
株主資本合計	833,439	560,072
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△30,189	△36,879
評価・換算差額等合計	△30,189	△36,879
純資産合計	803,250	523,192
負債純資産合計	3,434,528	2,776,876

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	5,037,051	5,130,372
売上原価	1,502,160	1,523,349
売上総利益	3,534,890	3,607,022
販売費及び一般管理費	3,283,278	3,238,433
営業利益	251,612	368,589
営業外収益		
受取利息	557	1,365
協賛金収入	11,514	19,482
その他	3,297	3,396
営業外収益合計	15,369	24,244
営業外費用		
支払利息	24,635	23,466
株式交付費	—	4,039
為替差損	3,109	13,523
その他	2,661	1,539
営業外費用合計	30,407	42,569
経常利益	236,574	350,265
特別利益		
固定資産売却益	15,018	—
貸倒引当金戻入額	1,534	8,748
特別利益合計	16,552	8,748
特別損失		
固定資産除却損	193	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	17,833
特別損失合計	193	17,833
税金等調整前四半期純利益	252,933	341,180
法人税、住民税及び事業税	92,105	136,539
法人税等調整額	18,820	26,203
法人税等合計	110,926	162,742
四半期純利益	142,007	178,437

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	1,643,362	1,722,560
売上原価	489,393	523,937
売上総利益	1,153,969	1,198,623
販売費及び一般管理費	1,061,650	1,088,291
営業利益	92,318	110,332
営業外収益		
受取利息	65	240
協賛金収入	5,670	6,133
為替差益	4,238	—
その他	1,233	930
営業外収益合計	11,207	7,304
営業外費用		
支払利息	3,051	7,652
株式交付費	—	188
為替差損	—	2,650
その他	185	281
営業外費用合計	3,237	10,772
経常利益	100,289	106,863
特別利益		
貸倒引当金戻入額	536	9
特別利益合計	536	9
税金等調整前四半期純利益	100,825	106,873
法人税、住民税及び事業税	39,918	38,328
法人税等調整額	△1,036	2,768
法人税等合計	38,881	41,096
四半期純利益	61,943	65,777

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	252,933	341,180
減価償却費	185,208	175,589
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	17,833
のれん償却額	2,607	2,154
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	55	△7,688
受取利息及び受取配当金	△557	△1,365
支払利息	24,635	23,466
為替差損益 (△は益)	3,109	13,523
株式交付費	—	4,039
有形固定資産売却損益 (△は益)	△15,018	—
固定資産除却損	193	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△23,952	△604
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,905	1,312
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△27,170	△11,829
仕入債務の増減額 (△は減少)	61,138	79,091
未払消費税等の増減額 (△は減少)	23,595	△12,129
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	101,187	81,120
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	2,529	1,119
その他	△8,058	24,545
小計	578,532	731,358
利息及び配当金の受取額	554	1,365
利息の支払額	△24,385	△23,545
法人税等の支払額	△12,614	△101,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	542,086	608,144
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△194,640	△103,461
有形固定資産の売却による収入	22,050	—
無形固定資産の取得による支出	△500	—
投資有価証券の取得による支出	—	△3,000
定期預金の預入による支出	—	△3,600
貸付けによる支出	△660	△5,680
貸付金の回収による収入	1,613	2,947
差入保証金の差入による支出	△22,725	△34,824
差入保証金の回収による収入	27,742	10
その他	2,552	7,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,567	△139,990
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△60,000	200,000
長期借入れによる収入	175,000	210,000
長期借入金の返済による支出	△289,610	△288,469
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△15,132	△26,246
株式の発行による収入	—	90,890
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,742	186,174
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,107	△16,443
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	177,669	637,884
現金及び現金同等物の期首残高	472,780	410,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	650,449	1,048,742

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年8月16日付で、株式会社マルト水谷、株式会社NSK、キーコーヒー株式会社、尾家産業株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が47百万円、資本準備金が47百万円増加し、当第3四半期連結累計期間末において資本金が378百万円、資本準備金が300百万円となっております。